



平成 17 年 11 月 22 日

各 位

会 社 名 株式会社 フェローテック
本社所在地 東京都中央区京橋一丁目 4-14
代表者名 代表取締役社長 山村 章
(J A S D A Q コード番号 6890)
問合せ先 総務部長 若木啓男
TEL 03-3281-8186

平成 18 年 3 月期 中間期業績予想の修正のお知らせ

平成 17 年 5 月 23 日に公表した平成 18 年 3 月期(平成 17 年 4 月 1 日～平成 18 年 3 月 31 日)の
中間期の業績予想を下記のとおり修正いたしますのでお知らせいたします。

記

1. 連結業績予想の修正

当中間期の業績予想数値の修正(平成 17 年 4 月 1 日～平成 17 年 9 月 30 日)

	売 上 高	営業利益	経常利益	中間純利益
前回発表予想(A)	10,100	340	170	90
今回修正予想(B)	10,720	290	250	410
増減額(B - A)	620	50	80	320
増減率(%)	6.1%	14.7%	47.1%	355.6%
(ご参考) 前中間期実績	10,783	1,063	940	458

(金額の単位：百万円)

2. 連結業績予想修正の理由

当中間期は、中国を中心とした C M S 事業が拡大したこと及び装置関連事業の各製品並びに電子デバイス事業のサーモモジュールの販売が当初の予定を上回って推移したことにより、連結売上高が期初予想を上回る見込みとなりました。

利益面では、小型案件の増加やプロダクトミックスの変化による装置関連事業の収益性の低下に加え、電子デバイス事業の主力であるサーモモジュールにおける原材料価格高騰及び新製品等の開発費用発生に伴い、営業利益は期初予想を下回る見込みであります。一方、経常利益に関しては円安による為替差益の発生により期初予想を上回り、また、中間純利益に関しては、経常利益予想に加え業務委託契約等の中途解約に伴う補償金収入を特別利益に計上するため、期初予想を上回る見込みとなりました。

ご参考(中間期：当社 9 月 30 日、子会社 6 月 30 日)

3. 個別業績予想の修正

当中間期の業績予想数値の修正（平成 17 年 4 月 1 日～平成 17 年 9 月 30 日）

	売 上 高	営業利益	経常利益	中間純利益
前回発表予想(A)	5,200	170	160	90
今回修正予想(B)	4,890	50	10	230
増減額(B - A)	310	220	150	140
増減率(%)	6.0%	-	93.8%	155.6%
(ご参考) 前中間期実績	4,625	267	296	83

(金額の単位：百万円)

4. 個別業績予想修正の理由

当中間期の個別収益に関しましては、装置関連事業の各製品並びに電子デバイス事業のサーモジュールの売上高は期初予想を上回りましたが、当社を経由する CMS 事業の受託製造に関わる一部出荷の遅れ及び新製品等の開発費用発生に伴い、売上高、営業利益及び経常利益が期初予想を下回る見込みであります。一方、中間純利益に関しましては、業務委託契約等の中途解約に伴う補償金収入を特別利益に計上するため、期初予想を上回る見込みとなりました。

ご参考（中間期：当社 9 月 30 日、子会社 6 月 30 日）

（注）上記の業績予想数値は、連結および個別共に監査完了前であり、予想は本資料発表日現在において入手可能な情報に基づいており作成しております。実際の業績は、今後発表する決算数字と異なる場合があります。

以 上